

## 第5学年雪組 社会科学習指導案

平成26年 2月 6日(木) 第5時(13:55~14:40) 5雪教室 指導者 山本 磨生

### 1 単元 情報化した社会とわたしたちの生活(17時間完了)

#### 2 単元の指導目標

- (1) マスメディアとしてのテレビに関心を持ち、番組制作を意欲的に進めようとする。(意欲・関心・態度)
- (2) マスメディアの良さを見つけると共に、番組を制作する側として、情報を正しく伝えるための方法を考えることができる。(思考・判断)
- (3) 番組を制作する過程において、伝えたい内容を正確に伝えることを意識して、自分の言葉で表現することができる。(技能・表現)
- (4) テレビ番組が、多くの人々の努力や工夫によって作られていることを理解することができる。(知識・理解)

#### 3 単元の構想と展開

##### (1) 児童の実態

本学級の児童(男子17名、女子18名)は、真面目で大人しい児童が多く、物事に集中して取り組むことができる。また、自分の考えをノートにまとめることは熱心に行うが、授業中の挙手が少ない。特に自分の考えや思いを伝えることを苦手とする児童が多い。

単元「わたしたちの生活と水産業」の学習では、導入段階で子どもたちに疑問をもたせ、その疑問を軸にして授業を進めた。また、実物の魚を見せたり、実際に魚市場の見学を仕組んだりすることで、児童は意欲的に学習することができた。そして、自分の疑問や学習課題について、体験や見学で調べたことや資料をもとに自分の考えを述べる活動を行ってきた。しかし、上手く資料を見つけられなかったり、自分の考えが資料と結びついていなかったりすることも多かった。資料を読み取る力、調べたことや資料から考える力が不足していることを実感した。また、見学や体験後のまとめ等には積極的に挙手する姿が見られたが、単元の終末の話し合いでは、根拠のない感情論になってしまった。

##### (2) 教材のとらえ

本単元「情報化した社会とわたしたちの生活」では、身近な「テレビ」を切り口として、自分たちを取り巻く様々なメディアとしての情報、ネットワークとしての情報について学習する。視聴者・利用者である子どもたちは、普段何気なく見たり使ったりしている「情報」というものの仕組みを知らない。身近なテレビというメディアを通して、身近ではない「情報化の仕組み」を捉えられるようにしたい。

そこで小単元として、テレビの裏側にじっくり浸ることのできる単元を構成した。まず、ミクスへの見学を通して、番組作成の仕組みやケーブルテレビについての関心をもたせたい。特に、ミクスの一番の魅力である「地域密着」という面に注目し、番組制作者の石川さんの思いに迫る。番組作りに対する思いを理解した上で、今度は自分たちが実際に番組を作る活動を行う。この活動を通して、正確に情報を伝えるための努力や、作った番組が視聴者に受け入れられるのかといった緊張感などの、情報を発信する側の責任を肌で感じさせたい。また、日頃何気なく見ているテレビ番組の裏側にはたくさんの人の苦労があることにも気付かせたい。そうした制作側の思いを知ったとき、子どもたちは、視聴者として、情報を正しく受け取り、活用しようという意識を持つことができるであろう。

また、自分の考えを表現することを苦手とする児童たちにとって、絶好の成長の機会にもなると考える。

##### (3) 指導のポイント

本単元では、情報を発信する側の思いや責任を感じることを一番のねらいとして、ミクスの石川さんの協力を得ながら自分たちで番組をつくる活動を行う。ねらいに近づくために、番組を制作する過程において、ミクスの石川さんとの関わりを大切にしながら、番組内容の検討や編集活動に取り組む。石川さんの番組作りへの思いを感じ取らせることで、情報を発信する側の責任と厳しさに気付かせたい。さらに、番組内容の検討や編集の遂行場面で、根拠をもって話し合いをさせるために、現在放送されているミクスの番組との比較や、グループごとに制作した番組の比較を取り入れる。また、石川さんに教えてもらったり、自分たちで考えたりした「番組作りのポイント」に立ち返る活動を随時行う。問題解決の方法について話し合う中で、考えの異なる友達とかかわり合い、積極的に自分の考えを伝えようとする姿にも期待したい。このような子どもの姿を導くために、次の手だてを考えた。

- ① 子どもたちが興味をもって積極的に学習を進められるよう、実際にテレビ局へ見学に行く。
- ② 製作者の思いや情報を発信する側の責任を感じられるよう、ミクスの方と共に自分たちの手で番組を作る体験を仕組む。
- ③ 遂行段階で、ミクスの番組・グループごとの番組を比較することで、番組構成の自分の考えに根拠をもたせる。

子どもの活動	教師の活動
<p style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">テレビの役割はなんだろう (1) (2)</p> <p>◇テレビに関わる経験を出し合い、テレビの影響力を感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流行語はテレビからよく聞く言葉だね。</li> <li>・テレビの言葉で流行語が決まってしまうほど、みんなに影響しているんだ。</li> <li>・普及率100%ということは、テレビがない家はないということだね。</li> </ul> <p>→テレビについてもっと知りたいな。</p> <p>◇テレビ番組の特徴を整理する。</p> <p><b>娯楽</b>…バラエティ・アニメ・ドラマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人を楽しませるため。</li> <li>・見てはいけないって言われた番組があったよ。</li> </ul> <p><b>情報</b>…ニュース・情報番組・コマーシャル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天気予報は正確にやってほしい。</li> <li>・CMはインパクトが大切だと思うよ。</li> </ul> <p>→テレビ番組には、人を楽しませる役目のものと、情報を伝える役目のものがある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流行語大賞のノミネート語一覧を見せ、知っている流行語を何で聞いたかを問いかける。</li> <li>・今までの流行語を振り返り、定着した言葉とそうでない言葉を紹介する。</li> <li>・定着した言葉の紹介から、テレビの影響力を感じ取らせる。</li> <li>・資料集のグラフより、テレビ普及率が100%であることに注目させ、生活に欠かせないものであることを伝える。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よく見るテレビ番組を出し合い、それらの番組の役割を考えさせる。</li> <li>・バラエティーなどの娯楽番組に偏った場合は、「テレビの役割は楽しませることだけなのか」と問い、情報の側面も出させる。</li> <li>・「テレビがなくなってもっとも困ることは何か」と問い、情報を伝える役目に目をむけさせる。</li> </ul>
<p style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">どのように番組が作られているのだろう。(3)</p> <p>◇番組がどのように作られているのか予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レポーターとアナウンサーがいる。</li> <li>・読む原稿は誰が作っているのかな。</li> <li>・ビデオで撮ったものを流すから簡単だと思うよ。</li> <li>・分かりやすく伝えなければいけないから大変。</li> </ul> <p>→本当に大変か、実際に見てみたいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際のニュース番組を見て、だれがどんなことをしているのか予想させる。</li> <li>・「番組を作るのは簡単か」と問いかけ、今後作り手側の思いを考える際のきっかけをつくる。</li> <li>・12月に行なわれた「根石っ子ミーティング」が取材されていることを伝え、見学への意欲を高める。</li> </ul>
<p style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">実際にテレビ局へ行ってみよう。(5)～(7)</p> <p>◇ミクスへ見学に行き、番組作りの行程を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラをとっていた人がテレビに映っている。</li> <li>・たくさんの機械があったね。</li> <li>・スタジオには大きいカメラがあったよ。</li> <li>・一つの番組を作るのに、多くの時間が必要。</li> <li>・岡崎の情報ばかりだね。</li> </ul> <p>→岡崎のことを細かく紹介している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミクスの見学へ行く。</li> <li>・前時に調べた番組作りと照らし合わせながら見学するように伝える。</li> <li>・ミクスで長く働いている石川さんに出会わせ、番組作りへの思いを聞く。</li> <li>・他局とは違い、事件・事故等急を要する情報は送らないことから「簡単ではないか。」と問い、その確認のために番組作りをするという意欲を高める。</li> </ul>
<p style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">テレビ番組をつくってみよう。(8～16)</p> <p>◇ミクスの魅力や思いを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのテレビ局よりも岡崎のことを細かく放送している。</li> <li>・岡崎のことを好きになってほしいという思いで番組を作っている。</li> <li>・仕事を分担しないで一人でやることに、やりがいを感じているんだ。</li> <li>・番組会議→アポ入れ→ロケ→VTR編集→原稿作成→スタジオ収録</li> </ul> <p>→岡崎市民を楽しませるとい思いが強い。地域密着。</p> <p>◇番組会議①良い番組の条件を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝える相手に合っている。</li> <li>・人を楽しませる、おもしろい番組。</li> <li>・天気予報は正確でないと困る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミクスで放送してもらうためには、ミクスの思いをより理解する必要があると伝え、番組作りにつなげるための見学のまとめをさせる。</li> <li>・「岡崎の人を楽しませるため」という思いを確認する。</li> <li>・見学で知った、番組作成の過程を参考にし、今後の番組制作の計画を立てる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミクスの様々な番組を見て、各番組の良さを考えさせる。</li> <li>・他局の番組とも比較させ、地域密着の良さを感じさせる。</li> </ul>

◇番組会議②番組のテーマを考える。

- ・石川さんは「岡崎の人のため」と言っていたね。
- ・岡崎の情報番組にするのはどうかな。
- ・根石小は今年140周年だよ。これを伝えられないかな。
- ・視聴者がどんなことを求めているのか、アンケートをしたほうがいい。

◇テーマに沿った題材集めをする。

- ・昔の学校のことは校長先生に聞いてみよう。
- ・学区の人は何か知っているのかな。
- ・昔の学校の瓦がおいてあるよ。

◇番組会議③各グループで番組の構成を考える。

- ・紹介する順番も大事だね。
- ・視聴者の興味を引くような始まりがいいと思うよ。
- ・どこへ取材に行くか、分担を決めよう。
- ・おまけコーナーで魚市場も入れたいな。
- ・多くの人に見てもらえるには、どんなコツがあるのか、石川さんに聞いてみたいな。

◇取材・編集をする。(随時)→総合

- ・どの内容を取り上げようかな。
- ・インタビューは入れたいな。
- ・アナウンスのことを考えたいね。

◇映像に合わせて原稿を作成する。

- ・テロップにあわせたナレーションがいいね。
- ・取材される人の思いが伝わる原稿を書こう。

◇取材した映像と、石川さんのアドバイスを聞いて、構成を考え直す。(本時)

- ・でも、岡崎の人に伝えたい。
- ・許可をもらえば放送できる。
- ・取材される側の思いを大切にすること

◇ミクスで編集・収録作業をする。→総合

- ・編集画面が二つある。確認するためかな。
- ・テロップによって、視聴者に伝わりやすくなるんだな。
- ・アナウンスは練習が必要なんだ。

◇自分たちが作った番組を見て、振り返りをする。

- ・一生懸命作った番組を見てもらいたいという気持ちがわかるね。
- ・喜んでもらえるか、緊張するよ。・宣伝しなくちゃ。

◇番組を見た人の意見を聞く。

- ・喜んでもらえてよかった。
- ・視聴者の立場に立った番組作りが一番大切なんだ。
- ・作る人には放送を流す責任があることを知った。

より良いテレビ番組作りのためには(17)

◇情報送る側の責任について考える。

- ・視聴者の立場に立って、慎重に作っていく必要がある。
- ・番組を作るには多くの人の手で多くの時間がかけられている。
- ・これからは、どんな思いで番組が作られているのかを、考えながらテレビを見たい。
- ・軽い気持ちから間違えて情報を流したテレビ局は責任感が足りない。

- ・石川さんの「岡崎の人を楽しませるため」という言葉を常に意識させ、意欲を持続させる。
- ・根石小140周年に注目させる。
- ・パンフレットも見ながら、番組制作のヒントにする。
- ・テーマが決まった時点で、石川さんにお伺いを立てる。

- ・今と昔の根石小・子ども・学区の様子を中心に扱うように導く。
- ・校長室の資料を校長先生に見せていただく。
- ・番組に取り入れたい題材を8個決める。

- ・何を、どのように伝えるのかを明確にさせる。
- ・資料・見学から根拠を持って考えさせる。
- ・自分が好きな番組をヒントにして考えさせる。
- ・様々なテレビ番組から、人気のある番組の秘密をさぐるよう伝える。
- ・必要に応じて、石川さんに電話で質問をする。

- ・番組作りにおいて、大切にすべきことをまとめる。
- ・視聴者の立場に立った考えを賞賛する。
- ・ミクスで現在放送されている番組を見せ、参考にさせる。

- ・根石学区の香村さんに戦時中の話を聞きに行く。
- ・情報番組のVTRのところを作るように伝える。
- ・クラスを四つのグループに分け、それぞれのグループで番組を作らせる。
- ・ミクスの番組づくりを参考にし、各グループ3つの内容に絞らせる。

- ・自分のグループが取り上げた事柄のについて、それを取り上げた理由を発表させる。
- ・他のグループへの意見・質問を出させ、話し合いを促す。
- ・取り上げた内容と理由が明確になるよう、板書を工夫する。
- ・出来上がった映像を石川さんに見てもらい、ビデオレターという形でアドバイスをしてもらう。

- ・ミクスへ出向き、実際の機会を使わせていただいてテロップを入れる。

- ・お昼の放送で番組を流し、その反応を見に行ったり、感想を書いてもらったりする。

- ・現在の加入率が20%ほどであることを伝える。
- ・より多くの視聴者に見てほしいという思いは、どのテレビ局でも共通であることを理解させる。

5 本時 ( 11/17 )

(1) 目標

- ① 自分たちの番組をよりよくしようと、進んで改善点を考えることができる。
- ② できあがった番組と伝えたいことを比較し、根拠を持って改善点を話し合うことができる。

- (2) 準備 児童…ミクスの資料・自分で集めた資料・ノート  
教師…石川さんのビデオレター

(3) 展開

時間	学習活動	教師の活動
3	1、これまでの学習を振り返る。 2、本時の課題を確認する。	・これまで大切にしてきたこと（視聴者の立場・伝えたいことを明確にすること）を、掲示を使って確認させ
2		
7	3、取材した映像を見て、分かった情報や伝わってきたことを発表する。 ・安い駄菓子がいっぱいあるね。 ・お店の映像があつて、昔の駄菓子がいっぱい売られているのが分かるよ。	・根石学区の店（杉くんの駄菓子屋）を取材したグループの映像を見せる。 ・視聴者として何が分かって、何を感じるかを考えながら見るよう助言する。
7	4、このグループが伝えなかったこと（目的）を発表し、活動3の発表と比べる比較する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2班 視聴者の人が行きたいと思えるお店の、安さ、おいしさ、店の雰囲気伝える。</div> ・この映像で行きたいとは思わない。 ・インタビューがながすぎてつまらないよ	・グループが示した目的から、「安い」「おいしい」「なつかしい」などのキーワードを見つけ、それが伝わっているのかを検証させる。 ・グループの目標にも目を向けさせ、目標とあっているかも比べさせる。 ・出来上がった映像を事前に石川さんに見てもらい、ビデオレターという形でアドバイスをいただしておく。
2	5、石川さんのビデオレターを見る。 ・これではだめなんだ。 ・これを考えればもっといい番組ができるんだな。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">石川さんのビデオレター 「残念ながら、この映像だと公共の電波として放送することができません。それは、みんなが思う「根石の良いところ」が伝わってこないからです。また、この映像では、関心を持って見続けることができません。ほとんどの人は飽きてしまいます。」</div>
13	6、より良い番組にするための方法を話し合う。 ・自分たちの思いをナレーションで入れる。 ・お店の人と会話をするようなインタビューがいいな。 ・お店の雰囲気を伝える自分たちの感想を入れるといい。 ・映像の撮り方も大事だと思う。	・石川さんのインタビューの中から次の二つの点を取り上げ、考える観点を明確にし、板書を工夫する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">話し合いの観点 ① 自分たちの思いが伝わっていない。 ② みている人があきてしまう。</div>
5	7、授業日記を書き、感想を交流する。 ・自分たちの思いを伝える必要があったんだな。 ・自分達が考えたポイントがあっているかどうか、石川さんにポイントを聞きたいな。 ・放送してもらえるよう、もっと責任を持たなければいけない。	・友達の見解を聞いて、自分の考えとつなげられたり、考えが広がったりしたことを書いている児童を賞賛する。 ・石川さんの考えを振り返られた児童を指名する。

(4) 評価

- ① 出来上がった映像や石川さんからのビデオレターを見て、自分たちの番組に足りないことを明確にすることができたか。(活動5、6より)
- ② 自分たちが考えた番組作りのポイントが確かかどうか、石川さんに尋ねようとする意欲を高めることができたか。(活動6、7より)